

経済産業省：平成29年度補正「学びと社会の連携促進事業
（「未来の教室」（学びの場）創出事業）」
類型c『産業界が抱える社会課題を解決するための能力・スキル開発を目的とした実証事業』

女性復職支援事業 成果報告書（福岡）

はじめに

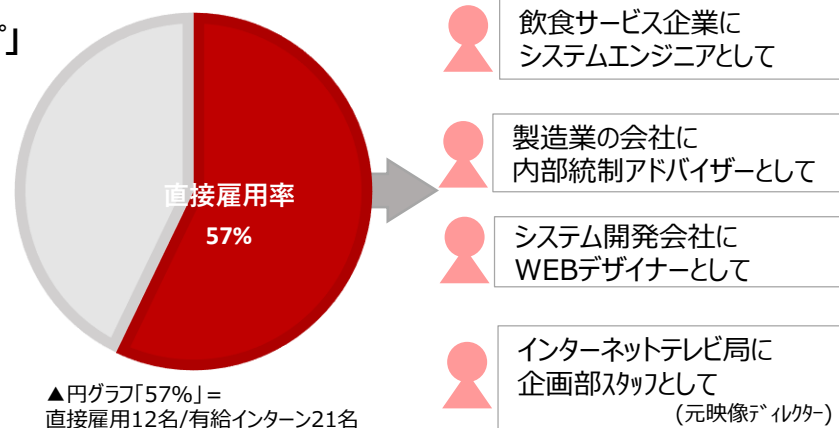
Work Step株式会社が受託し、NPO法人ママワーク研究所と連携して実施いたしました、経済産業省「未来の教室」（学びの場）創出事業における「女性復職支援事業（※1）」。2018年8月～2019年1月に取り組んでまいりました。この実証事業では再就労の意欲を持つ復職希望女性を対象とし、

- 1.「リカレント教育」
- 2.「企業との交流会（ママドラフト会議®）を経てのインターンシップ」
- 3.「一気通貫コーディネーターによる再就労マッチング」

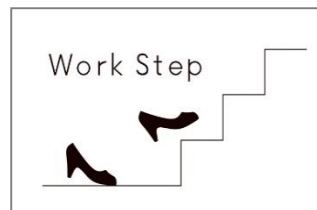
に取り組みました。

福岡市では、参加女性**23名中21名が有給インターン**に進み、うち**12名が就業継続**、50%を超える直接雇用が実現しました。

この事業概要、及び成果を以下にご報告致します。



また、たくさんのご協力者、関係者の皆様のお力を頂き、本実証事業を完了することができました。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。



2019年3月末日
WorkStep株式会社 代表取締役 田中彩

事業概要

【実施概要】

◆経済産業省「未来の教室」（学びの場）創出事業における「女性復職支援事業」とは（前頁※1）

第4次産業革命の中で日本が「課題“解決”先進国」となるために求められる「学びの社会システム」＝「未来の教室」実証事業の一環として実際された、産業界の課題解決に資する、離職中の復職希望女性達を対象としたリカレント教育事業のこと。PwCコンサルティング合同会社が受託した事業の中で、実証パートナーとしてWork Step株式会社がママワーク研究所と連携して、リカレント教育・インターンシップ・再就労マッチングに取り組みました。（実証期間：2018年8月～2019年1月、後援：福岡市）

本実証事業では、連携団体と共に、福岡市、名古屋市、一宮市の3エリアで復職支援に取り組みました。

復職女性の募集・ランチ講座の実施・インターン企業の募集			一気通貫コーディネーター養成
【福岡市】 連携：NPO法人ママワーク研究所 https://mamawork.net/ 後援：福岡市	【名古屋市】 連携：学び舎mom株式会社 https://manabiyamom.com/ 後援：愛知県	【一宮市（愛知県）】 連携：NPO法人コミュネスいちのみや http://www.communes-ichinomiya.com/ 市民活動団体チアフル・ママ http://cheerful-mama.com/	【プログラム設計・講師協力】 小安美和（㈱Will Lab） https://www.willlab.tokyo/ 蒲生智会（㈱スリーアウル） http://threeowl.co.jp/

2018年8月から広報をスタート、10月の学び直し講座、11月6日のママドラフト会議(※)を経て、約1ヶ月のインターンシップを開催。離職中の復職希望女性の心理サポートも可能な一気通貫コーディネーターを育成し、インターンや復職までマッチングサポートを行った。



※企業と復職希望女性との交流会。福岡では、交流会の前に代表者10名によるスピーチ会をステージにて行った。ステージ開催は自主事業としての開催。

1. 事業の成果

【成果】

	実施内容	実施規模	実施成果①	実施成果②
福岡	・学び直し講座（4日間）の実施。ドラフト会議・ミートアップ（交流会）を経て、お試し就業受入企業とのマッチングの実施	・修了生 17名 ・企業 25社	21名が13社にてインターンシップ参加	12名がお試し就業先への就労継続
名古屋	・学び直し講座（4日間）の実施。ミートアップ（交流会）を経て、受講生とお試し就業受入企業とのマッチングの実施	・修了生 8名 ・企業 3社	4名が3社でインターンシップ参加	2名がお試し就業先への就労継続
一宮	・学び直し講座（2日間）の実施。受講生とお試し就業受入企業とのマッチングの実施	・修了生 7名 ・企業 5社	1名が1社でインターンシップ参加	1名がお試し就業先への就労継続

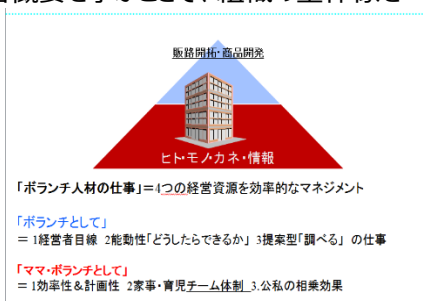
特に参加者の多かった福岡では

実績数値は2019年3月末現在

- ①経験やスキルを有する、意欲的な参加者が23名プロジェクトに参加。（詳細は次頁以降を参照のこと）
- ②ママボランチ講座修了生23名のうち、21名がインターンシップとして試行就労を経験（ママドラフト会議※に登壇した10名は、100%のインターン採用となった）
- ③インターンシップ就労者21名中12名が、インターンシップ後も継続雇用となった（12/21=57%）
- ④受入企業は、25社エントリー。うちインターン受入は13社となる。全て、今後同様のインターンシップ事業があれば取組むとの回答。

【ママボランチ®講座とは】

プランクを経ても、組織全体を視野に入れた意欲と責任感に溢れる人材の輩出を出口に想定した、学びなおし講座。バックオフィス業務の運営概要を学ぶことで、組織の全体像を掴み、受講生それぞれのキャリアの強みを活かしたチャレンジ意欲を喚起。中小企業の中途採用正社員候補人材・将来的リーダー候補を輩出する。



成長企業で働く心得

【ママドラフト会議®とは】

再就労希望女性のためのスピーチコンテスト。2014年にママワーク研究所が考案し、スタート。ステージ登壇の前には、「魅力120%UP研修」という事前レッスンを用意。参加者それぞれの強み・魅力を最大限に引き出して登壇を迎える。観客席には、企業関係者。経験や強みを求職者側から届けることで、就労条件のみに捉われない出会いと可能性が広がるマッチングイベント。 ※本実証事業内での実施は福岡のみ。自主事業としてステージ開催を行った。



△登壇の様子



△交流会の様子



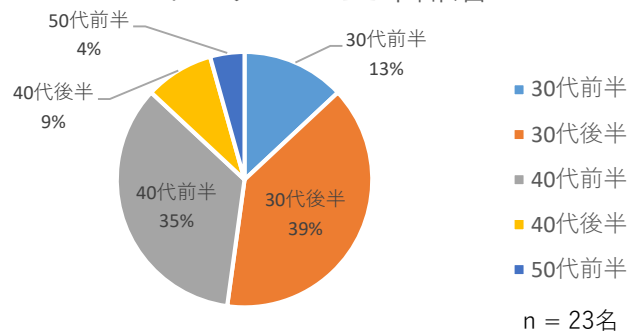
第10回の開催報告詳細はこちらから⇒ <https://mamawork.net/report/265/>

2. 本事業参加女性の基本属性・キャリア・スキル

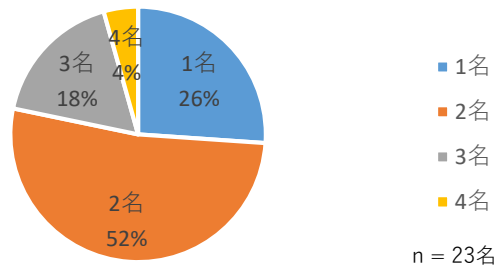
(※福岡エリアのみ)

●基本属性

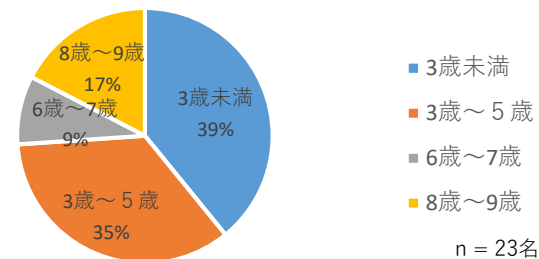
インターン生年齢層



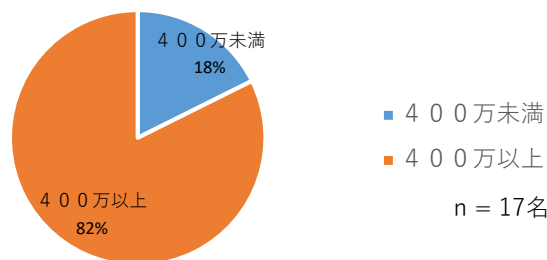
お子さんの人数



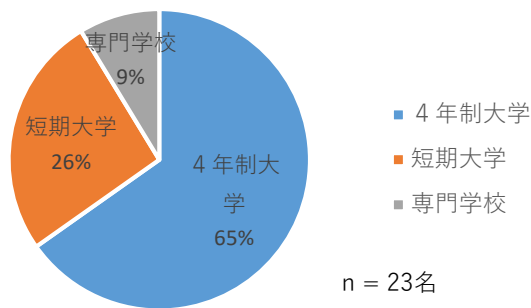
末子年齢



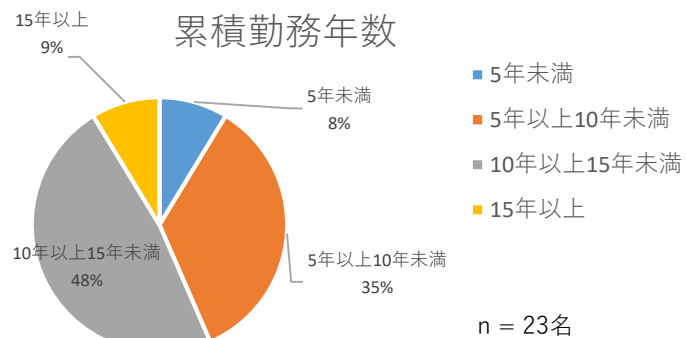
世帯年収



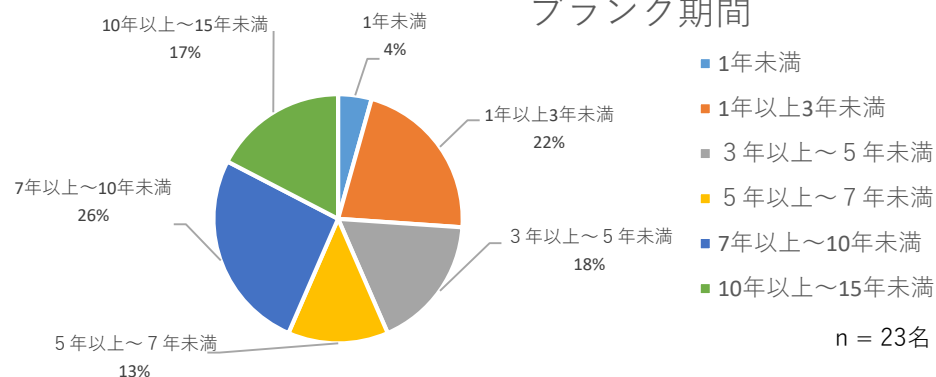
最終学歴



累積勤務年数

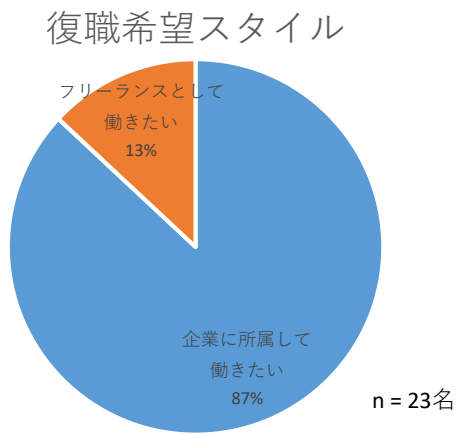
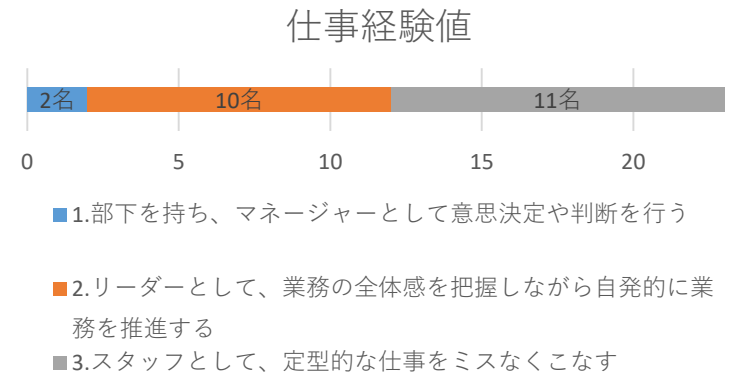
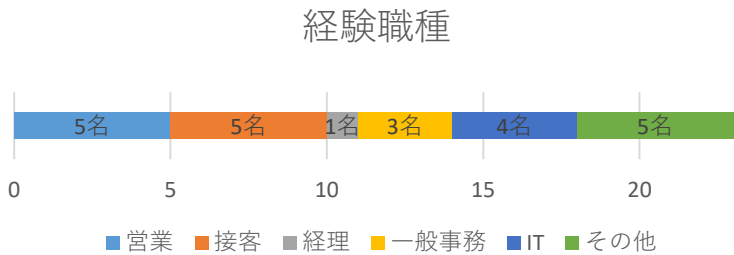


ブランク期間

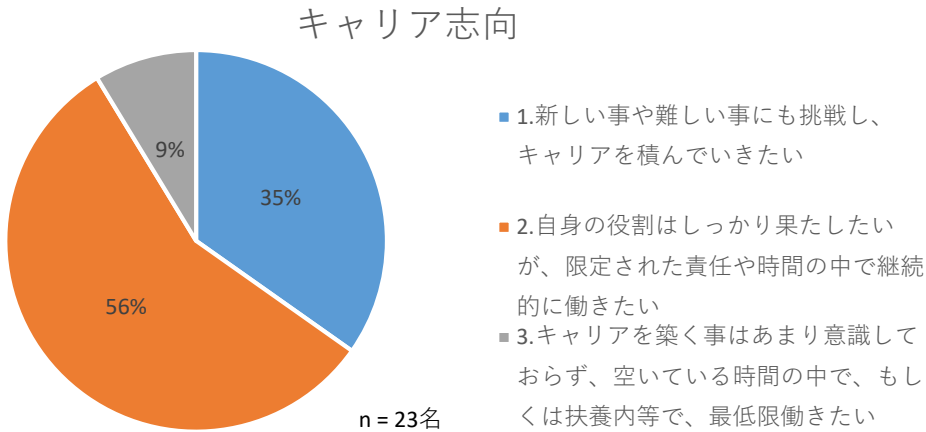
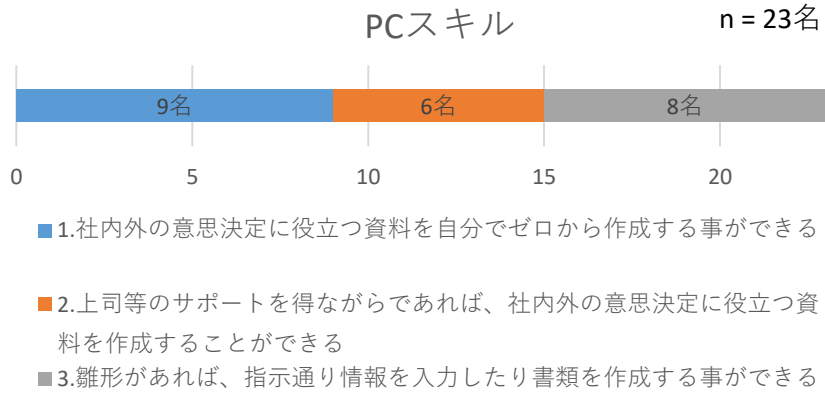


●これまでの業務経験とキャリア志向

プログラム参加女性の、経験職種は様々。営業・接客・事務・ITと各職種4～5名のほぼ同数。またスタッフとして、現場リーダーとしての仕事の経験値が多い傾向。家庭との両立のため、チャレンジングなキャリア形成より、限定的な責任や時間の中での再就職を目指す女性が多数派であった。



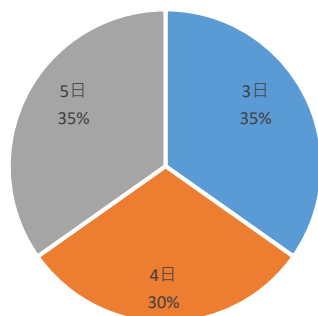
	職種詳細		職種詳細
(1) 営業	イベント広告営業	(3) 一般事務	webサイト管理
	企画提案営業		営業事務・総務
	不動産販売		営業事務
	営業アシスタント	(4) その他	テレビ番組制作
	ルート営業		貿易事務・営業
(2) IT	Webアプリ開発		品質管理
	PCオペレーター		製菓製造・接客
	ITコンサルタント		管理栄養士
	ITシステム構築	経理・一般事務・接客除く	



●就労希望・両立環境

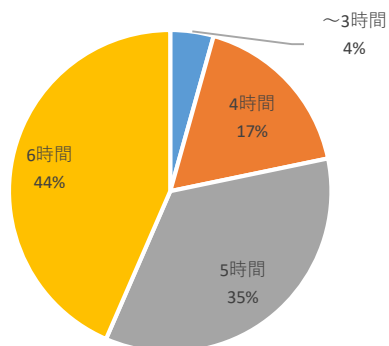
就労希望は、6時間未満の短時間のみ。通勤時間も30分以内が多い傾向。子育て、介護等家庭との両立が優先されるため、それに見合ういい仕事が見つければ復職したいという参加者が多かった。

希望勤務日数



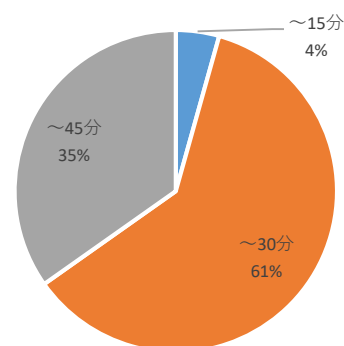
n = 23名

希望勤務時間



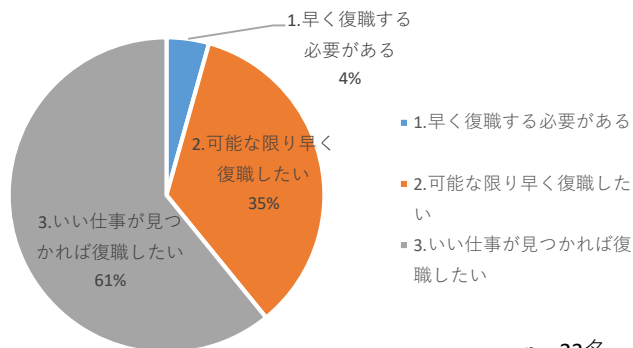
n = 23名

希望通勤時間



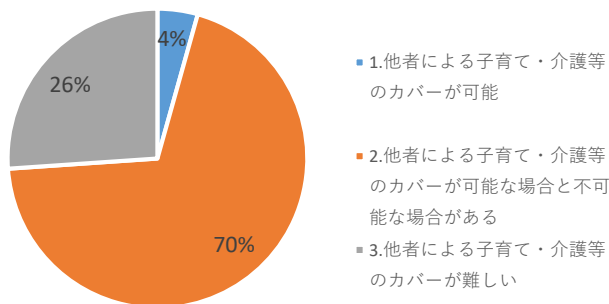
n = 23名

復職の緊急度



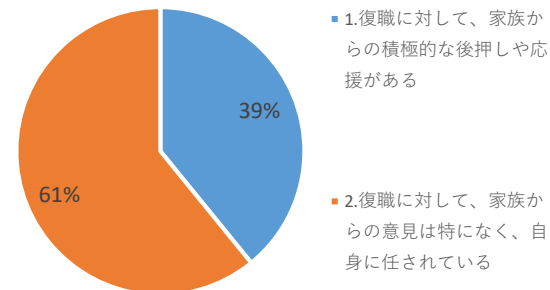
n = 23名

物理的制約



n = 23名

心理的制約



n = 23名

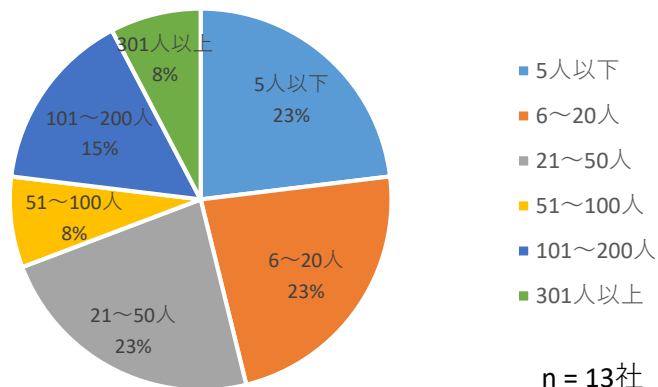
3. 本事業参加企業の業種・受入職種・企業規模（福岡のみ）

受入企業は、25社エントリー。うち面接等を経てのインターン受入は13社。21名のインターン生が有給インターンシップに取組むこととなる。企業規模は様々。インターン時の時給は、814円から1500円までと企業・職種によって幅が見受けられた。

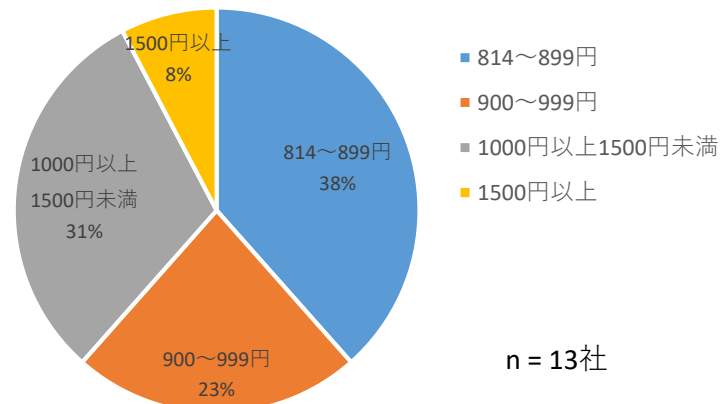
業種	社員数	受入職種	受入れ人数(人)	時給(円)	雇用継続(人)
建設業	6～20人	設計補助	1	1000	0
情報通信業	6～20人	編集業務、編集サポート業、WEB制作・編集・コーダー業、営業事務業務・資料作成	4	1000	2
宿泊業、飲食サービス業	301人以上	SE、データ入力、店舗スタッフ	4	814	2
医療、福祉	101～200人	事務・経理	1	850	1
その他	21～50人	事務業務	1	900	1
サービス業	5人以下	営業アシスタント	2	1000	0
情報通信	5人以下	HP制作・WEBデザイン業務	1	900	0
情報通信	21～50人	営業アシスタント	1	1200	1
金融・保険業	6～20人	広報、事務	1	900	1
不動産業、物品賃貸業	101～200人	人材紹介事業業務	2	850	1
サービス業	5人以下	税理士補助	1	875	1
情報通信	21～50人	本部業務	1	820	1
製造業	51～100人	内部統制事務	1	1500	1
			計 21名		計 12名

2019年1月末時点

インターン生受入企業社員数



インターン生時給



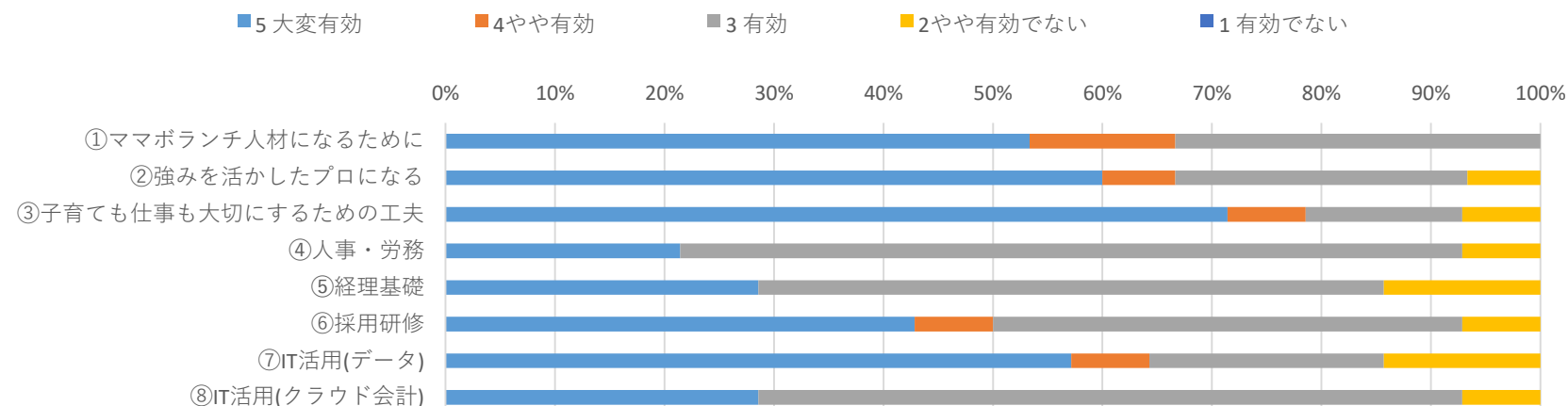
5. 本復職女性支援プログラムの有効性

① ママランチ講座（学びなおし）

企業からは、短時間でも広い視野で責任感を持ち、意欲的な職務姿勢を醸成する「マインドセットに関する講座が有効」との回答が多かった。IT活用やPCスキルに関する期待も多く聞かれたが、実践的トレーニングは短時間での実施が難しいため、リカレント講座への採用には課題。

ママランチ講座の有効性

（企業回答数 10社 n=10）



企業からの声

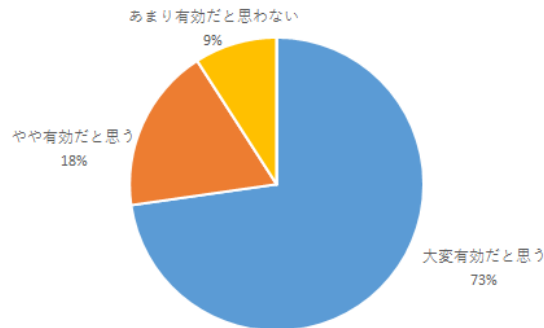
- ・これだけの知識を学ばれて会社へ入っていただけるのは大変ありがたいですね。ただ時間制限が学んだ知識を生かせないのではとおもいます。業務請負という働き方もありますね。
- ・説明が多く、実践がなかったと実習生に聞きました。ExcelやSNSの実践を今後はもっと取り入れて頂き、業務に即、活かせる人材になって頂き、受け入れができると助かります。
- ・どの講座も受講していただいくにはとても良いと思う。ぜひ実施して欲しい内容です。就業前に講座を聞いていただけるのは有難いです。
- ・マインドセットができていれば、仕事への取り組み方。受け入れ側からすると有効かどうかは微妙である。
- ・いずれ、専門のプレイヤーを目指してほしい。強みを1・2個活かしてほしい。
- ・IT活用に関する部分は、実践的にとても有効。7～8年のブランク期間に業界が変わっているため、PCスキルのブラッシュアップは大切。
- ・全て教育プログラムは必要、ありがたいシステムである。社内での教育ができないため、ぜひ教育プログラムを実施して欲しい。少人数の企業であり、入社した際には全ての部署に絡んでくるため広く浅くでも知っておくべき内容である。

5. 本復職女性支援プログラムの有効性

復職女性と企業とが会う、ママドラフト会議及びその後の交流会は、「個人の強みの把握」「個々の就労ニーズの聞き取り」が可能になったと、70%の企業から「大変有効」の回答を得た。また、有給インターンシップ、伴走型コーディネート共に60%の企業から「大変有効」との回答を得られた。

② ママドラフト会議 (企業回答数 11社 n=11)

① ママドラフト会議の有効性



インターン受入企業に対して、本プログラムの有効性についてアンケートを行った。

「ママドラフト会議」というスピーチスタイルの復職女性と企業との交流会について。

①ステージについて「大変有効」の回答は73%。

②ステージ後の交流会についての「大変有効」「有効」の回答は90%。

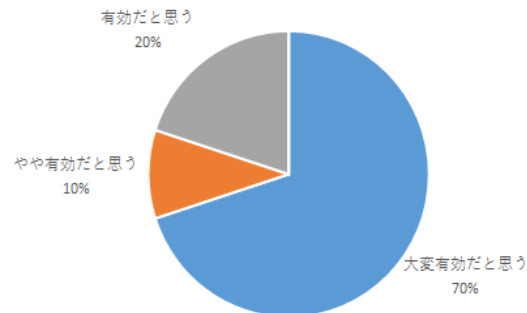
その他、

③有給インターンシップについての「大変有効」「有効」の回答は80%。

④伴走型コーディネートの有効性は「大変有効」「有効」の回答は80%となっている。

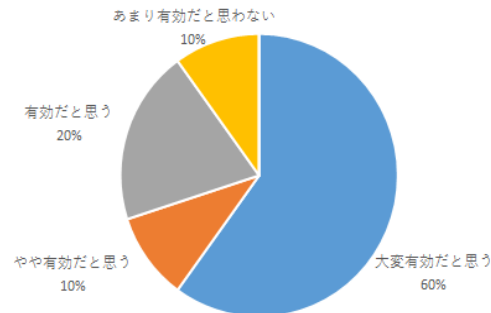
③ 交流会参加型マッチング・インターンシップ・伴走型コーディネート (企業回答数 10社 n=10)

② 交流会の有効性



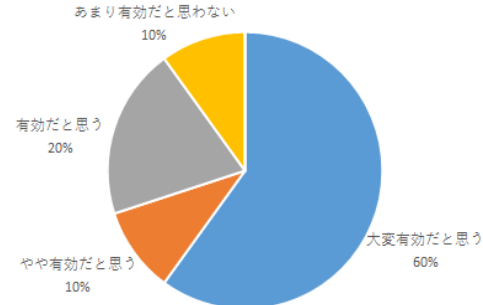
- ・双方の交流ができるところがよい
- ・大変良い取組みだと思う
- ・細かいニーズが反映できる

③ 有給インターンシップの有効性



- ・実際の仕事のイメージが持てて良かった
- ・自社の試用期間よりも、インターンのほうが双方の意見が反映しやすい
- ・やりたい仕事かを見極めてもらえる
- ・有給インターンは企業側としても意見を伝えやすいと感じた

④ 伴走型コーディネートの有効性



- ・間に入ってもらう事で、伝えやすかった
- ・不安が解消されて良いと感じた
- ・ママ人財が安心でき、有効だと思う
- ・ママにとっては安心なシステム
- ・客観視してもらえたので良かった

6. 参考資料： マッチング事例

事例①【ITさん】

30代前半。大学卒業後、携帯販売会社で販売職に3年間従事（但し後半の1年半は育休）。

実質1年半の短いキャリア、7年の離職期間、そして3人の子育てとの両立で不安が大きかったものの、インターン期間中にphotoshop操作を学び、WEBデザイナーとして再就職が決定。

●女性人材視点

・離職前・期間

福島出身。東京の大学を卒業後、携帯販売会社に入社。3年間（但し後半の1年半は育休）、本部の直営店にて販売職に従事。社内資格の取得や他店舗の営業支援に関わるなど積極的に職務に取り組んだが、第1子の育休中に離職を決意。

・復職までのストーリー

▽リカレント前▽

実質1年半の短い就労経験故の自信の無さと、3人の子育て（7歳・4歳・2歳）をしながら仕事ができるのか不安だらけという様相。

▽受講のきっかけ・変化▽

リカレント講座の説明会で、先輩ワーキングマザーのイキイキとした姿を見て、私もトライしたい、と申し込む。講座はもちろん、キャリア面での強みの再発見、そしてママドラフト会議への登壇を経て、「自分をPRすること」が積極的にできるように。

▽インターンの様子▽

インターンが決まった後も自信の無さと両立不安を抱えていたが、受入企業のサービスを偶然知っていたこと、実務する中で意欲的に学び、新たなソフト操作を習得したりして、積極的に取り組んだ結果、インターン後の雇用継続につながる。

▽決定した就労条件▽

末子の幼稚園入園までは週3日×3.5時間/日 勤務を継続し、5月以降は週5日9：30～15：30にて勤務予定。

○マッチングエージェント視点

・女性人材の変容

業界、職種等、未経験尽くしのインターン就労だったが、ご本人の主体性、課題への挑戦する力が再就職につながった。このマインドセット喚起にはリカレント講座も貢献している。

・企業の変容

「スピーチ登壇がなかったら、ITさんは受入れていないと思う」との企業コメントを得た。キャリア・スキルのにも履歴書類だけでは企業ニーズにマッチしていなかったため。リカレント講座での自信と成長意欲の醸成が、面談及びインターン時の企業評価につながった。通常の採用プロセスを超えた、企業との出会いの場が有効であったと感じたケース。

・両想いにするまでの道のり

受入保育園が未定な中で、子連れ許可を頂いての面接実施。インターンシッププログラム（受入企業の子供向けITプログラムのテキスト作成）を企業が準備。全体業務・求められるレベルが明確な試行就労の形式が、インターン生の成長意欲を喚起できたことも大きいように思う。また、指導役上司が、前職でインターン生と同じ企業に属していたことも、仕事に関する価値観のギャップを減少させていたように感じる。

●企業視点

・企業概要・採用環境

業務システム開発やホームページ制作の企業。SE職が採用できず、媒体や人材紹介も活用しながらスタッフを採用してきた。

企業ビジョン「個性と挑戦」。スタッフの成長と活躍し続ける環境を用意する方針が貫かれている。採用難の中で、外国人⇒女性人材の採用に積極的に取り組んできた。

・採用までのストーリー

初の育児休業取得女性が出たことから、積極的な女性採用を始めていた。商工会議所からの案内で、事業エントリー。当初は「SE職」の求人票だったが、交流会で出会った復職女性達のスキルや経験から、職務等を見直し、新たな職種（ホームページ制作・WEBデザイン）でのインターン受入となった。

リカレント講座で醸成された、自ら取組み・学び取る姿勢を遺憾なく発揮。インターン最終日の社長面談で、インターン生本人の「チャレンジ意欲」と企業ニーズが合致したため、就業継続となる。

6. 参考資料： マッチング事例

事例②【SSさん】

50代前半。短大卒業後、大手電機メーカー、商社にて事務部門に約9年従事（仕入れ先管理、営業事務、経理事務、総務事務、貿易業務など）した後、夫の海外赴任に伴い退社。**17年の離職期間**があるも、4年前にパートタイムとして総務業務を経験。その後の職を探している期間の本プログラム参加。積極的な仕事ぶりが評価され、フロント業務での再就職が決定。

●女性人材視点

・離職前・期間

愛知県の短大卒業後、大手工業用電機メーカーの購買部にて2年、木材専門商社の名古屋支店にて事務全般に7年従事。夫の海外赴任に伴い退社。
プライベートでは、出産育児のほか、NPO法人のカメラ、記事執筆担当や小学校の図書ボランティアなどに参加してきた。離職期間は17年。

・復職までのストーリー

▽リカレント前▽

17年のブランクを経て、2年間パートタイムとしての再就職を経験。その後の仕事探しをしている折、本プログラム参加。

▽インターンの様子▽

インターン開始後すぐは、慣れない未経験業務を進めていくための時間不足感や、テキパキと仕事をこなす職場の方々と自分との比較で不安も感じていた様子。

前職やボランティア活動などを通じ**一定レベルの業務スキル**（office・photoshop等）を身に付けていたことのほか、年下を含む**職場の先輩社員から学ぶとする謙虚かつ積極的な姿勢**を兼ね備えていたことから、短期間の間に職場に溶け込むことができ、結果としてインターン後の雇用継続が決定。

▽決定した就労条件▽

2019年1月より月・金曜9時～16時、火曜9時～12時、土曜9時～18時の週4日、扶養範囲内で勤務予定。

○マッチングエージェント視点

・女性人材の変容

長期ブランクと未経験業界への就職で、不安はあったものの、4年前の復職経験もあり、不安定なマインドサポートは要しなかった。
リカレント講座を経て、広い視野でのコミュニケーション力が職場で発揮され、学校行事との兼ね合いでの勤務時間変更の交渉など職場への**配慮あるプライベート条件の交渉等**が実践できていた。

・両想いにするまでの道のり

長期ブランク人材の課題となる、学びとアンラーニングの面でSSさんは優れており、**謙虚さと積極性をバランスよく持ち合わせ**、短い期間で意欲的に業務を身に付け即戦力となるための努力を継続した。社交的な性格で職場にもすばやく溶け込めたことが雇用継続につながった。

●企業視点

・企業概要・採用環境

車両販売代理業の小規模企業。女性従業員は正社員3名、パート1名、保険専門の派遣社員1名。人手不足への危機感を背景に育児中の女性の復職支援に社長がかねてから共感・推進の意向を持っていた。

・採用までのストーリー

もともとスタッフと社長との間で交換日誌を欠かさない「**人を大切にする**」社風もあり、復職女性の**成長意欲が喚起**されたこと、加えて**積極的な業務姿勢**が職場から評価されたこともあり、本採用につながった。

以上、実証成果報告とさせていただきます。

この成果を活かし、女性復職支援に取り組んで参ります。

新たな復職支援プロジェクトや潜在就労女性の採用にご関心がある企業の方は、下記までお問い合わせください。

info@workstep.co.jp